

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域の中で擬似家族としての共同生活体を作る。周辺地域の活動に積極的に参加する。	○	①地域の活動に参加する。②グループホーム内のイベントなどに参加して頂けるよう働きかける。③施設のオープン日をつくる。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼・週一回・月一回の会議など、また気が付いた時は、その都度話し合いを開き、皆で(職員)統一して理念の実践に向けて日々取り組んでいます。	○	こまめに報告・連絡・相談をし、定期的にカンファレンスを行い意志統一を図りたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居希望の時から、本人・御家族、関係者に当所の理念を説明して理解をしていただけた様に説明をしています。と同時にグループホームの玄関・ホールに掲示して、いつでも閲覧できるように(大きな字で、読み易い様に)しています。	○	地域の会合やお祭りに参加していただき、又、獅子舞や経読みなど回って来る(中まで入っていただいている)今後とも大いに関交流をして「事業所の果たそうとしている役割」を自然と理解して頂けるようにしていきます。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者と散歩・ゴミ捨てに出かける時、近所の人達(畑にいたり・診療所に受診に来たりした人)と行き会い、挨拶をしたり立ち止まり雑談を気楽にさせてもらったりしている。	○	現在、近所の元気な高齢者が庭木の剪定、草取り、畑の耕作等に来て頂いている。今後も来て頂けるようにしたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入り、回覧版を回していただいたり、地域の催し、お祭り(巨峰祭り・お姫様のお祭り・東町歌舞伎見学)への参加・移動図書館・近所の小学校児童の訪問・運動会のお誘いなど交流中。	○	今後は、地域の老人会にも参加できるようにしたい。

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居者に配慮しつつ、高校生のボランティア体験やヘルパー養成研修、小学生の親子の社会体験などの受け入れをしている。要請があれば認知症の相談や勉強会を開催する体制は整っている。	○	ありのままのグループホームを理解して頂き、寂しいとき等に、気楽にお茶飲みに来て頂ける様にしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を皆で検討して、目標を立てて取り組んでいます。具体的な改善を行えるよう、会議・実践を繰り返している。	○	スタッフの知識・技術・質を向上、チームワークを向上させる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で現状報告を行い、情報交換や話し合い現場に活かしている。	○	市内のグループホームとの意見交換、額集会なども行いたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	①定期的にグループホームの情報提供を行っている ②入居者の情報などの検討を行っている	○	家族への対応・未払い金徴収への協力を要請したい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	①勉強会をテーマを決めて行っている ②必要のある方には適切に活用できるようにする。	○	法律の専門家などの研修やアドバイスがあれば受けたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止宣言をしている。身体・精神的・言語・経済的虐待などないか、常にスタッフ間で注意している。	○	現場で提供しているサービスが、虐待に相当するか否か、常に検討しあえる環境を作りたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者・計画作成担当者が、時間をとって丁寧に説明をし、どんな質問でも答えられる環境を作り出し、疑問に答えるように努めています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自由に自然に、利用者が家族の希望・意見・要望・苦情を出すことができる雰囲気作りをしている。スタッフ全員で検討し、現場で活かすようにしている。	○	利用者へのアンケート調査などの回数を多く行いたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪ねてきた時、体調を崩した時など、きめ細かく報告し、安心して入居生活が送れるよう努めています。	○	家族会を開き、入所の生活ぶりを知ってもらい、個々にあわせた報告に努めている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	目安箱を各施設に置き、投函しやすい工夫をしています。それらは、大切な意見ですので事業所全体で前向きに活かしていく姿勢を大切にしています。	○	苦情・要望シートに記録し、全スタッフで検討し現場に活かしている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回会議を開き、意見交換をしている。また、必要な時は、随時開催している。	○	コミュニケーションの活性化、情報の共有化をさらに図りたい。

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その都度必要に応じ、柔軟に職員の配置を考えている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が困らない様に常に考えている。職員の交代があっても、今まで通りにケアできる様に勤めている。馴染みの職員中心に、継続的に支えることが出来ている。	○	利用者と職員の馴染みの関係作りを大切にしていく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加者は研修受講後、法人の全体会議や学習会の場で研修内容を伝達をして、皆で共有してよいケアが出来る様に努めている。法人内外の研修に計画的に且つ活発に参加している。	○	研修へ積極的に出席する。(会費の支援あり) スタッフ全員が、参加できるものと考えていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業施設での学習会に出席する。また、他施設の職員とも交流し、ケアの向上に努めている。ネットワークづくりを積極的に行っている。	○	もの忘れネットワークへの参加など。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	季節の親睦会、飲み会やサークル活動を行っている。	○	職員同士の豊かな人間関係の構築に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己目標・自己評価を定期的にしてもらい、適切なアドバイス・支援を行っている。	○	職員の資格取得に向けた支援 (例)ケアマネージャー取得の為、対象者に学習会を設けている。 取得後は意向を重視し、緑風会内で活かしてもらっている。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来られたら、相談員とサービス計画担当者にて、利用に向けての相談を受け、困っていること、不安なこと、求めていること等を順を追ってゆっくり聞き、どうしたいのかもふまえた話し合いが出来るように努めている。共感・受容し、傾聴に努め、信頼関係を築ける努力をしている。	○	本人に受け入れられる信頼関係作りに努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホームを見学して頂き、主に計画担当のケアマネージャーが中心になり対応する。ご家族の話を積極的に傾聴し、受容する努力をしている。	○	家族が今何に困っているかを整理し、状況を把握する。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の相談をうかがう中で、信頼関係を築きながら、必要としている支援を見出す。	○	グループホームに適さない場合は、他のサービスを提案する事もある。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームの入所希望者に、グループホームのデイサービスを何日か体験して頂き、入所につなげるなどの例もある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者に尊厳の気持ちを持ち、共に支え合える関係づくりに努めている。	○	お互いが協調しながら、生活できるようにしたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とも協調しながら、本人を支援できる関係を築く努力をしている。	○	自然な人間関係を目指している。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会・収穫祭など機会あるごとに集まっていたき、本人と家族のよりよい関係作りを支援している。	○	継続し、新しい試みも加えていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係を継続できるように支援していく。	○	手紙の代筆・電話をかけるお手伝い等して、今までの関係を断ち切らない。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ホールでの席等も気を配り、居間でテレビなど見たり、くつろいだり出来る様、常にスタッフが調整役となって支援している。	○	お食事・お茶・くつろいで居る時など、横に座り会話、スキンシップを楽しみながら、関わり合い・支えあいが円滑に行えるようにしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	訪問、TEL、手紙を出したり、広報紙を届けたりしている。	○	定期的なイベントなどにも参加して頂いている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時、居室の使い方を検討、本人の望む暮らし方が出来るように支え、その後も本人の希望、訴えを常に受け止め、その都度支える。	○	入居後も、どこで暮らす事が最良なのか御家族と検討していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴・生活パターン・好きな環境などの情報収集に努めている。	○	これまでの経過や本人・ご家族からの情報提供をうけている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ADL、心身状態、生活ぶり、残存能力などをトータルして把握するよう努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本位でより良く生活できるためのケアプランを作成するよう努力している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した見直しをする。気になった事柄が生じたら、見直し用紙に記載し、職員間で検討する。3～6ヶ月毎にモニタリングを行っている。又、それ以前に課題が生じた場合は、関係者と話し合い現状に即したケアプランを作り直している。	○	こまめに状態の変化を把握、理解しすみやかに適正に対応するようにしたい。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実務への反映に活かす。気づきや様子は、個々の記録に書き込み、職員間の情報共有に努める。	○	こまめに気づきや工夫を重ねられるよう努力したい。それを実践し、ケアプランに反映出来るようにしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通所系サービスと入所サービスを必要に応じて使い分けるよう努力している。	○	引き続き、臨機応変に対応をしていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域生活をしていく為には、普段から連携を取れる機会を設けている。	○	民生委員との会議、ボランティアの受け入れ、防災訓練、治安維持、学校(小・中・高)や幼稚園との交流に引き続き努めていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、家人の意向を含えて、他のケアマネジャーや事業者とTELで話したり会ったり、ちょっと訪問したり支援をしている。		

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協働し情報交換や支援を行う場面がある。	○	引き続き必要に応じて行っていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に応じてかかりつけ医師との関係を築き適切な医療がうけられるよう支援している。	○	同上
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科の専門医の定期的支援・相談・アドバイスを受けている。	○	同上
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームに常勤の看護師が居る。日常の健康管理や医療を支援している。	○	同上
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院すると、洗濯物を持ちに行ったり、常勤の看護師が様子を聞きに行ったり、早期退院出来る様、連携を密にしている。	○	同上
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、終末期はどこで、どこまで医療を受けたいか希望を聞く。また、体調変化した時や、介護保険更新時など話し合っている。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	計画担当者を中心に、主治医、ご家族と話し合える環境を常日頃より作っている。	○	同上
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時は計画担当者が中心になり訪問し、相手先の方と話し合い、情報交換に努めて、入居者が不利にならない様にしています。	○	きめ細かい連携をする。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法にのっとりプライバシー保護に努める。	○	引き続き法令遵守に努めていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で、自分の気持ちを言える雰囲気作りをして支援している。	○	利用者自身で選択・決定する場面を多くするよう努めている。

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	早朝起きるのが苦手な人にはゆっくり寝ていただく。、AM10時のお茶の時などに、「今日は」と皆に聞き、買い物・散歩など柔軟に対応し、一緒に生活を送っている。	○	引き続き行っていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	自宅から持ってこられた服を季節ごとに整理整頓し、自由に着替えられるようにする。また、理容・美容は本人の希望の店へご家族と一緒に رفتり、職員と出かけたりする。	○	同上
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューは、利用者と相談しながら決めるようにしている。畑の野菜の食材を使って一緒に調理をし、食事を一日の大切な活動のひとつにしている。	○	同上
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好に沿えるよう努力している。	○	同上
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	布パンツ中心に、排尿間隔が短い人には声掛けし、他入居者に気づかれない様に、誘導をする。生活できるように心掛けています。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	好きな時間帯で一人ひとりの入浴時間を考慮して、ゆっくり楽しめる様に工夫をしています。	○	同上
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めています。夜間、寝付けないときは、温かい飲み物を一緒に飲みながらおしゃべりする等配慮している。	○	同上
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるように生活の中に取り入れている。感謝の言葉を伝えています。	○	同上
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大金を所持することは控えていただいておりますが、床屋や買い物へ出かけた時は、本人に支払っていただくようにしています。ご希望に応じて、事務所で預かるようにしています。	○	同上
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関前に椅子5～6個とテーブルを置き、外気浴したり、駐車場を利用する職員と雑談したりします。散歩・ドライブにも機会をみつけて積極的に出かけています。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族・他の利用者と外出できるよう工夫し働きかけている。	○	同上
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり手紙のやり取りしたりが、自由に出来るよう支援している。	○	同上
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間は制限せず、ご家族の都合の良い時間に訪ねて頂けるような配慮をしている。	○	同上
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ならびに、精神的な言葉の暴力も絶対にしない。当施設で学習会を行い、職員の共有認識を図っている。	○	同上
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアを目指して努力している。	○	外へ黙って行きそうな様子を察知したら、さりげなく一緒についていく等の対応をしています。

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間利用者の安全に配慮している。(日中はフロアにて、夜間は物音・足音ですぐ動く。)	○	引き続き行っていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況変化によっては、注意を促していくなど、その場その場に応じた対応しています。	○	同上
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	徘徊ノンセンサーを設置してありますが、過信することのないよう、常に入居者の動きを視野に業務を遂行すると共に、事故防止に取り組んでいます。一人ひとり、積極的に学び、活かしています。	○	同上
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	学習会を通し学び、また、マニュアルを熟知し、徹底を図っている。	○	同上
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	年2回の災害訓練を行っている。常に地域の人々の協力を得られる様に、地域の防災訓練に出席したり、地区の消防団に来てもらい消防士による指導を受けたりして、学び、実践できる努力をしています。	○	同上
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	疑似家族としてグループホームは、入居前からご家族と共に話し合い、自然な生活の中で起こり得るリスクを前向きに受け止めている。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを、行なっています。普段の状況を把握しており、些細な変化も見逃さないようにしています。	○	同上
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬袋内に入っている説明書を必ず見て、前回の内服と同じか、処方の変更になったかを確認してから、指示に従って、入居者が服薬出来る様、管理しています。わからない時は常勤の看護師に確認し、間違わない様にしています。	○	同上
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便が3日ない時、医師の指示に従って対応できる様、準備を常に整えています。食事は野菜を多く摂取(グループホームで採れた季節の野菜をおおいに活用)しています。無理なく楽しんで体を動かす機会を設けて、自然排便できるように取り組んでいます。	○	同上
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後は特に念入りに、ナイトケアの一つとしてスタッフが確認しながら行ってます。義歯の方は入れ歯洗浄剤も使用。健康維持の為、力を入れているケアです。	○	同上
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士に定期的に献立をみてもらっている。脱水にならないよう努力している。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防委員会を中心に回覧版・ポスターを迅速に配布・説明をして実行している。	○	引き続き予防に力をいれていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所調理用具等は、夜間、徹底的に消毒をしています。(調理用具・食器は毎日熱湯消毒・台所全体を消毒液で拭く・冷蔵庫の中まで拭いています)冷蔵庫を過信しないことをモットーに、新鮮で安全な食材を提供できるよう、食材は2～3日で使い切る様に計画立てて用意。夜勤者は食材の整頓を毎日行っています。	○	引き続き行っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は玄関を開け、周りに季節の花を植え、玄関には小学校からいただいた机・椅子に白ペンキを塗り、ひと息つけて歩きやすい庭造りに心掛けている。施設の建物はどうしても違和感があるので、“隣の家”と言ってもらえる様な環境づくりに配慮しています。	○	同上
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は畳ですが、坐れない人にはソファーに坐ってもらえるようにし、皆で・ゆっくり・自由に・居心地よく、雑談やテレビ観賞を楽しめるようにしています。ホールにも季節感を採り入れ、窓からも季節の草花を楽しめる様にしています。	○	同上
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者が描いた絵を飾り、居心地良い空間作りを工夫している。	○	同上

グループホーム御姫尊

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅の馴染んだ家具(こたつ・仏壇・たんす等)を持って来ていただき、自宅の雰囲気や漂わせられるようにしている。	○	同上
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になる匂いや空気の淀みがない様、朝は換気している。また、ポータブルトイレ設置の居室には芳香剤を使用している。秋～春の間は湿度にも注意を払っている。(毎日3回測定し、加湿器を各居室に設置し、対応を怠らない様、努力してる。)	○	空気の入替え、温度・湿度調節を常に意識して対応する。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている。	○	引き続き行っていきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その入居者の動きに合わせて不安材料を取り除き、状況に合わせた環境整備に努めている。	○	同上
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周囲で日向ぼっこができ、散歩、田畑をみて季節を感じられるようにする。駐車場を利用する他部署の職員との雑談を楽しむ等、自宅から一歩外に出た様な雰囲気を作っています。	○	同上

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム御姫尊

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・入居者が出来る事のレベルは落とさない、職員と共に楽しみながら行える様に努めています。
日常生活の中での得意分野を行い生活をエンジョイしています。
- ・入居者と一緒に坐り(職員は間に入り)おしゃべりしながらゆっくり食事を楽しみ、凝家族の絆を築く。
- ・施設内ばかりに居ず、田園地帯にあることをおおいに活用して、外気浴を楽しみ、散歩、近所の人と交流をおおいに楽しむ。